

キリストの聖体

ルカ 9・11b-17

2022.6.19

カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

今日は初聖体の式がありますので、今日は主には初聖体をする二人の人たちに向かってお話しします。

今日は、二人に見て欲しい**絵**があるので、今、渡しますね。皆さん、今子どもたちに配ったのは、黙示録の中に「見よ。わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう」(黙示録 3・20) っていう、そういう箇所から採られた、イエス様が扉をノックしている、そういう絵なんです。

この扉は誰の家か知ってる？ イエス様がノックしているのは誰かの家、決まった人の家というよりは、わたしたちみんなの心のお家なんです。イエス様が今日心の中で、「トントン、開けてください」って呼んでます。みんなのお家の中に入って、友だちになりたい。

初聖体をこれからもらうってことは、イエス様に心の戸を開けてあげて、イエス様を中に入れてあげるっていうことです。イエス様が中に入って、二人の友だちになりたいって言って呼んでるんです。イエス様がノックしている扉を開けてあげる人が、「わたしはイエス様に心の扉をあけてあげますよ」ってことをみんなに分かるように表わすために、今日これから二人はご聖体をみんなの前でもらいます。

今日初聖体で、二人は白い服を着て、ベールをかぶって、特別な服を着てますけども、そして後で「初聖体おめでとう」ってみんなに言われますけど、今日最初に「おめでとう」って言われるのはイエス様です。イエス様が「お友だちになりたい」ってノックしていた。その二人の心の扉が開いて、中に入れる。中に入って新しい友だちが増えたということで、イエス様に「おめでとう」ってわたしたちは言います。

そして、それだけじゃなくて、イエス様に友だちになった人は、お友だち同

士も友だちだから、今日ご聖体をもらうのは二人だけじゃない、二人は練習して今日初めてもらいますけど、後で大人の人でも若者もたくさんの方がもらいます。ということは、イエス様の友だちはいっぱいいるし、二人は、イエス様の友だちである人はお互い同士も友だちなんです。学校のクラスだったら、おんなじ年の人しかしません。でも教会は、おじいさん、おばあさんも、もっと小さい赤ちゃんも、そしてみんなも、大人の人もおじさん、おばさんも、イエス様を通して友だちになれます。だから、今日は新しい友だちがわたしたちにも増えたので、わたしたちも「おめでとう」ってお互いに言い合って喜ぶんです。

今日は、イエス様がわたしたち一人ひとりの心の扉をいつもたたいて、何回も何回も、ときどきわたしたちは忘れちゃって、追い出しちゃうんですけど、でもそのたびごとにノックして入ってきてくださるイエス様を心の中に迎えるんだってことを、大人のわたしたちも思い起こしながら、そして今日初めてご聖体をもらう二人と一緒に「おめでとう」って言い合いながら、今日のこの祭日のごミサを捧げられたらいいと思います。